

自らの課題として拡大に取り組む

＝両支部組織拡大対策会議で意思統一＝



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行者 佐々木 力
編集者 及川 孝
TEL 019-622-5021
メールアドレス numori@poem.ocn.ne.jp

2015.7.10
第1483号

拡大キャッチコピー
「新しい仲間づくりを皆の力で」
「一緒に解消しませんか、あなたの疑問。加入ってます」



＝挨拶する佐々木委員長・盛岡支部会議＝

6月13日、盛岡国労会館で盛岡支部組織拡大対策会議、同日20日には第11回青森支部組織拡大対策会議が青森県観光物産館(青森市)で開催された。地方本部からは両支部会議に沢田光広書記長、青森支部会議には菊池要悦執行委員が参加した。

両支部の会議では、支部からの現状報告や今後の取り組みと重要性が提起され、各分会から今春の新規採用者への対応、職場での状況などが報告され意見交換を行った。参加者からは取り組みの厳しさも報告されたが、諦めず職場での繋がりをつくり、組合員一人ひとりが組織拡大を自らの課題と位置付け、情報を共有化し国労運動の取り組みを訴えて拡大行動を進めていくことを意思統一した。(今報告は、盛岡支部が戸田智章執行委員、青森支部は高瀬貴弘執行委員)

盛岡支部 運動に学び合い進めよう 情報の共有化も大切にしよう

沢田書記長から労働法制改悪や海外派兵につながる安保法制の問題などの政治情勢、岩手自治体選挙勝利と組織拡大に向けこの間の行動を見つめてもらいたいといささつを受けてもらいました。

中堤副委員長の問題提起に続き各分会から①今年の新採への取り組み②この一年間の取り組み③今後の取り組みの三つに分けて報告を受けました。◎今年の新採への取り組みの主な内容は「配属に

ついての情報がつかめず対応が後手になった」「新採と組合の話をしたが興味がない」「分会で作成したパンフレットを渡した」「新採の配属初日、組合の話をしたがすでに加入していた」「配属されたときに直接、国労や組合について説明し加入を呼びかけたい」「掲示板を活用し国労加入を訴えた」「未成年なので飲み会ではなく食事会を開催した」「組合のことを聞かれたが答えることが出来なかった」「分会として新採加入に向けた意思統一が足りない」「職場主催の歓迎会に参加しなかった」「労働法など新採用と話すことが出来た」などでした。◎この一年間の取り組みと成果について

青森支部 年間的取り組みとして行く 職場での繋がりを強めたい

初夏を思わせる澄みきった青空の広がった6月20日、青森支部の第11回組織拡大対策会議が開催された。各分会の代表をはじめ20人が参加し、これまでの活動の報告やこれから取り組みについて意思統一を図った。

会議は阿部一久支部委員長を座長に選出して進められ、地方本部の沢田書記長が政治課題を含めて情勢を報告し「新採対策の振り返り」と求めた。「職場改善に向け国労の交渉力を強めていくために組織拡大は重要。今日までの各分会の取り組みを突合せ次への一歩を踏み出そう」との佐々木政治支部組織部長の



＝提起を聞く参加者・青森支部会議＝

当面の主な日程

- ▽7月15日(盛岡) 第10回地方本部執行委員会及び第1回組織検討委員会
- ▽7月18日(東京) 東日本本部主務職・助役職交流会
- ▽7月30・31日(新潟) 第84回定期全国大会
- ▽8月3・9日 被爆70周年原水爆禁止世界大会「広島・長崎」
- ▽8月8日(盛岡) 統一自治体選挙勝利総決起集会

全国・東日本本部大会 2015年度代議員決定 全国5人・東日本本部6人

2015年度の全国・東日本本部大会の代議員選挙が6月17日投票、同20日開票(第1選挙区・盛岡支部/第2選挙区・青森支部)で実施され、別記の通り各大会の代議員が決定した。

なお、全国大会は新潟県の越後湯沢・湯沢グランドホテルで7月30日・31日の2日間、東日本本部大会は8月24日・25日の2日間、埼玉県さいたま市「ラフレさいたま」櫻ホールで開催される予定となっている。

- 盛岡駅連合分会 菊池 要悦
- 盛岡駅連合分会 阿部 一久
- 八戸運輸区分会 田崎 秋弘
- 青森運輸区分会 高橋 務
- 北上工務分会 松島 義文
- 盛岡駅連合分会 小林 良宏
- 盛岡施設分会 佐藤都久雄
- 北上駅連合分会 小泉 正直
- 青森運輸区分会 市澤 寛
- 八戸工務分会

提起を受けて討論に移り、「駅全体での新入社員歓迎会の開催を引き続き要請していく。分会執行委員会で組織拡大について議論を重ねている」「職場での交流をすすめるが、国労への理解を深めていく」「職場では趣味をつうじた繋がりができてきている。今後引き続き広げていきたい」「積極的な声をかけ、趣味などのつながりに引き続き取り組んでいく」との声が出された。一方で、組織拡大の取り組みがなかなか広め切れしていない分会役員も率直に報告されていた。

「若手社員は私たちの仕事をよりよく見て。今後もしっかりした働き方を見せたい。若手社員は業務研究やマイプロ等でサービス残業が常態化してきている。改善の取り組み」との発言があったが、グループ会社を含めたJRに働く全ての労働者が安全に安心して働き続けられる職場を求めてきた国労運動の重要性を改めて全体で確認した。

また、貨物の仲間からは「昨年と今年は新規採用なしの予定だったが、退職や病欠の要員不足の為、東北支社として8人が中途採用される見込み」との報告があり、組織拡大に向けた取り組みの余

安倍政権の「暴走」が止まらない。マスコミによれば6月25日、安倍首相に近い自民党若手議員らによる「文化芸術懇話会」で「マスコミを懲らしめるには広告料収入がなくなるのが一番」「沖繩の二つの新聞は潰さないといけない」旨の発言が出たという。いわゆる「報道圧力問題」である。自民党は懇話会代表の木原稔青年局長(当時)更迭等の処分を谷垣禎一幹事長の権限で同日27日に行っているが、「トカゲのしっぽ切り」との感否めぬ。問題は改憲勢力の本質にある。戦後70年、日本は侵略戦争の反省に立ち、少なくとも「集団的自衛権」行使については憲法違反であることを時の執政自ら規定してきた。しかし「戦後レジームからの脱却」を標榜する安倍政権は「数の力」を背景に押し切ろうとしている。そうした動きと合わせて、防衛省設置法の「改正」で「文官統制」規定の廃止と制服組が部隊運用の主体となる「運用一元化」も行われている。確実に戦前への後戻りが始まっている。今こそ、私達は声を大にして「戦争法案反対」を訴えていかねばならない。同時に、「世界で一番企業が活躍しやすい国」をめざした政治は、労働者・勤労国民へより一層の犠牲を強いるものでしかない。青年部時代に学んだ「窮乏化法則」を目的とする思いではない。政治は私達と無関係ではない。私達が政治に無関心であってはならない。戦後政治が大きく変えられようとしていく今日、私達労働者に求められているのは「連帯」と「団結」である。伝統ある「革新の風土」を断ち切らなくてはならない(要)

岩手自治体選挙

推せん候補の議席確保に支援を

◇二戸・久慈・滝沢・盛岡市議/岩手県議選◇

岩手県における統一自治体選挙が7月9月にかけて施行される。国労の推薦する予定候補者は7月19日告示、26日投票の二戸・久慈・滝沢、8月16日告示、同23日投票の盛岡の市議会議員選挙と8月28日告示、9月6日投票の県議会議員選挙の別掲8人になっている。(7月12日投票の磐石町議選立候補予定の坂下栄一氏は速報版に掲載済み) 県議選では、組織内候補の木村幸弘氏が花巻選挙区に久保孝喜氏が北上選挙区に3期連続の議席確保にむけて立候補を予定、精力的に政策を訴え運動を展開している。権力・数の力を背景に国民課題を置き去りにし戦争の火を扇ぐにたどる安倍内閣に対し、地方の場から戦争法案、憲法改正に反対し国民本位の政治を求める闘いと結合し、われわれの声を届ける議員の議席確保にむけて各地区で共同の仲間とともに友人・知人の紹介などの取り組みや支援と合わせて大切な一票の行使を訴えて行こう。



◇県議選挙・盛岡選挙区
小西和子(62)
社民党公認・現②

☎019-656-1524

【プロフィール】
○誕生 1953年4月
○卒業 岩手大学教育学部
○職歴 岩手県公立学校教員
○主な役職
現 岩手県議会議員(2期)
現 商工文教委員会委員
現 社会民主党岩手県連合代表
現 岩手県特別支援学校PTA連合会顧問



◇県議選挙・北上選挙区
久保孝喜(61)
社民党公認・現②

☎0197-64-5050

【プロフィール】
○誕生 1953年12月
○卒業 黒沢尻南高等学校和賀分校
○職歴 国労盛岡地本書記 盛岡一般労組専従
○主な役職
現 岩手県議会議員(2期)
現 総務常任委員会委員
現 社会民主党岩手県連合副代表



◇県議選挙・花巻選挙区
木村幸弘(55)
社民党公認・現②

☎0198-24-3445

【プロフィール】
○誕生 1959年12月
○卒業 黒沢尻工業高校
○職歴 国鉄盛岡管理局北上保線区入職
○主な役職
現 岩手県議会議員(2期)
現 環境福祉常任委員会
現 社会民主党岩手県連合副代表
現 保護士



◇二戸市議選挙
鈴木忠幸(62)
社民党公認・現⑧

☎0195-23-4520

【プロフィール】
○誕生 1952年10月
○卒業 大船渡高校
○職歴 岩手県職員労働組合二戸支部書記
○主な役職
現 二戸市議会議員(8期)
現 総務常任委員会委員
現 議会運営委員会委員
現 社会民主党二戸支部代表



◇盛岡市議選挙
細川光正(66)
社民党公認・元④

☎019-647-6680

【プロフィール】
○誕生 1949年2月
○卒業 盛岡第三高校
○職歴 郵政省盛岡地方貯金局事務官
○主な役職
元 盛岡市議会議員(議員歴4期)
現 社会民主党岩手県本部幹事長
現 社会福祉法人自立更生会理事長



◇県議選挙・一関選挙区
千葉進(61)
社民党推せん・無新

☎0191-48-3386

【プロフィール】
○誕生 1954年3月
○卒業 國學院大学文学部
○職歴 岩手県公立学校教員
○主な役職
元 岩手県高等学校教職員組合青年部長書記長・執行委員長等を歴任
現 千厩町中沢字自治会副総務部長

選挙日程

- △二戸・久慈・滝沢市議会議員▽
7月19日告示 / 26日投票
- △盛岡市議会議員▽
8月16日告示 / 23日投票
- △岩手県議会議員▽
8月28日告示 / 9月6日投票

※投票日に投票できない人は、期日前投票で確実に権利を行使しよう。



「集会後はデモ行進で訴え」

「戦争法案の制定STOP P! 県民総決起集会」が6月

戦争法案反対と4000人 シュプレヒコールで訴え 岩手県民総決起集会

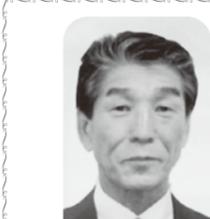
13日、岩手県公会堂大ホールで開催された。戦争をさせない岩手県委員会・平和環境岩手県センター・社会民主党岩手県連合の3団体が主催する集会は5月16日に続いての開催となり、安部閣連法案に反対し廃案を求める県民・労組団体ら約400人が参加した。(国労からは8人が参加) 基調講演では、沖縄県教職員組合・中央執行委員長山本隆司さんが、「在日米軍をめぐる4つの『都市伝説』」を戦後70年・沖縄・東北からみ

る日本の平和と」と題して約90分間の講演を行った。4つの都市伝説とは、①在沖米軍基地は安保条約があるから仕方がない②普天間基地危険性除去のために辺野古移設が必要③地政学的に米軍が沖縄を必要としている④米軍基地がなくなると沖縄は破綻する。とし、山本さんは「これらは事実ではなく、沖縄の常識が日本の常識になっていない。国土面積の0.6%しかない沖縄に米軍施設が約74%集中しているのは、構造差別政治が原因だ」と訴えた。

また、今国会で戦争法案の成立を急ぐ安倍首相について「積極的平和主義」は学力的に間違っている。戦争の対義語は平和ではない。格差・不平等・差別・虐待をなくす平和運動こそが「積極的平和主義」である。安倍首相の唯

一の追い風は、国民の無関心である。沖縄から全国に運動を広め「戦争法案」を廃案に追い込む」と決意の一端も含め基調講演を行った。戦後70年の中で沖縄は27年間米軍の占領統治下におかれ、本土復帰43年目を迎える今も米軍基地問題を抱えている。沖縄の選挙区でみられるように新基地建設反対が圧倒的民意である。私たちは、沖縄の問題を日本の問題とらえ米軍基地問題に取り組んで行かなければならない。

最後に集會会場では、米軍の辺野古新基地建設に反対するカンパを取り組んだ後、参加者は岩手県公会堂から大通りを直進しクロステラス前までデモ行進を行い、「戦争法案反対!」「自衛隊を戦場に送るな!」とシュプレヒコールで市民に訴え終了した。



◇滝沢市議選挙
山谷仁(64)
社民党推せん・無現④

☎019-641-0759

【プロフィール】
○誕生 1950年9月
○卒業 東京経済大学経営学部
○職歴 (株)朝日広告社入社 (岩手支局・盛岡)
○主な役職
現 滝沢市議会議員(4期)
現 滝沢市水泳協会会長
現 滝沢市水泳協会会長
現 滝沢市議会議員(4期)



◇久慈市議選挙
豊巻直子(59)
社民党公認・新

☎0194-53-3363

【プロフィール】
○誕生 1955年8月
○卒業 福島大学専攻科
○職歴 岩手県公立学校教員
○主な役職
現 小学校教諭(大東町興田中学を最初に久慈・待浜・大野第一中学、麦生小中学、久慈中学校に勤め本年3月退職)

東北ろうきん サマーキャンペーン2015 もれなく サンスター防災オーラルケアセットをプレゼント! 店頭表示金利に金利上乘せ 年0.10% 新規で5万円以上の定期預金(1年もの)をお預入の方は店頭表示金利に年0.10%を上乗せします。 ※「新規預入れ」のみ、「増額預入れ」は対象外です。 ※個人のお客様が対象となります。 ※「ふれ愛預金」「特別金利定期預金」等、一部対象外となる預金があります。 ※窓口での預入れに限り。 ※上乗せ金利は、「初回満期日」までとなります。 2015年6月1日現在